

## 第 80 回メーデー中央大会挨拶

2009 年 4 月 29 日

連合会長 高木剛

風薫る新緑の中、公正と連帯の社会実現をめざす第 80 回メーデー中央大会にご参集頂き、中央実行委員会を代表して心から感謝申し上げます。

この第 80 回メーデー中央大会に政府を代表して舛添厚生労働大臣、民主党の小沢代表、社会民主党からは福島党首、国民新党の亀井幹事長、そして東京都の山口副知事にお越し頂いております。心から御礼申し上げます。また、麻生総理からは祝意を表すメッセージを頂いていますし、中央労福協、労金協会、全労済、日本生協連、退職者連合からも代表者の皆さんに来賓としてお越し頂き、併せて多くの NPO の皆さんにもご参加頂いています。誠にありがとうございます。

加えて、今年は、年末年始の「年越し派遣村」で村長を務められた、NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい事務局長の湯浅誠さんにも来て頂き、連帯のご挨拶を頂くようお願いしております。湯浅さん、ありがとうございます。

ところで、今年のメーデーは 80 回目の節目のメーデーです。メーデーの起源は、1888 年の 5 月 16 日にアメリカで 8 時間労働制を求めてゼネストに立ち上がったのがルーツであり、第 1 回国際メーデーは 1890 年 5 月 1 日にスタートしました。日本では、1920 年 5 月 2 日に東京・上野公園で第 1 回メーデーが開催され、途中 1936 年の 2.26 事件を契機にメーデーが禁止されましたが、第二次大戦後に復活し、今年で 80 回目を迎えました。

この 80 回目を迎えるメーデーは日本においても労働者の地位や労働条件の向上、権利の拡大、人権や労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の実現をめざす運動など、その時代時代の労働者の運動目標を共有し合い、団結を確認する場としてその役割を果たしてきています。歴史的には、血のメーデーと言われた 1952 年のメーデーなど、労働運動の闘いの歴史のページに記録されるメーデーもありました。

私たちは、先人の闘いが作り上げてきた権利を当然のこのように享受していますが、一方では労働運動の存在意義を問われる組織率の低下や運動展開力の弱体化などを指摘されるなどメーデーの歴史に学ぶ必要があるとの強い指摘もあります。

最近、80 年前のメーデーのポスターを改めて見る機会がありました。そこでは、「解雇賃下げ絶対反対」「失業者の生活を国庫で保障せよ」「8 時間労働の実施」などの怒りのキャッチフレーズのもと、メーデーへの参加を呼びかけていました。現在の私たちがおかれている状況と全く同じではありませんか。

80 回目の節目のメーデーに当たり、労働運動の再構築のため参加者全員が労働組合の原点、メーデーの原点を思い起こす必要があることを強く訴えたいと思います。

時あたかも世界同時不況のなかで日本経済も極めて厳しい状況にあります。雇用の状況も悪化を続けており、今年の春の賃金等の交渉も総じて厳しい結果となっています。

非正規雇用労働者が全雇用労働者の三分の一を越え、年収が 200 万円に達しないワーキング・プアと呼ばれる労働者が 1,000 万人を越えています。労働分配率も停滞する賃金改善と低所得の非正規雇用労働者の増加により低下を続け、可処分所得の低下により、家計も極めて厳しい状況を強いられています。いわゆる派遣切りや採用内定の取り消しなど雇

用のルールの本幹を揺るがず経営側の対応も目立っており、社会保障の揺らぎと共にセーフティネットが劣化し、多くの勤労国民の不安と不信は否応なく高まっています。

こんな日本の将来に希望が持てるのか、今世直しのために何が求められているのか、私たち連合は正念場に立たされていると思います。

この10年、15年、私たち日本の労働者の生活と権利のレベルは停滞、あるいは後退を続けています。

こうした状況を改善するため、日本の政治・経済・社会の基本的な枠組み—パラダイムを変えていかなければなりません。不信と不安の日本から、信頼と安心の日本へ向け舵を切らなければなりません。

連合は、格差拡大、貧困が大きく社会問題する中であって、メーデーにおいても、第76回、第77回と2年連続で中央メーデーと併設し、代々木公園野外音楽堂にて「パート契約者の集い」を開催してまいりました。そして昨年、一昨年は、同会場で「非正規労働メーデー」と称してパネルディスカッションなどの企画を行ってまいりました。そして、今回の記念すべき第80回のメーデーでは、中央メーデーを正規も非正規も全ての働く者が集うメーデーとしたい、そんな思いから、幅広く非正規労働者の方々にもご参加を呼びかけてまいりました。別会場では、雇用と就労支援に関わる「労働相談コーナー」を設置し、多くの方々の相談に対応させていただきます。

時代を画すべき第80回メーデーを契機に、今の日本社会のありように怒りを込め、正規労働者も非正規労働者も共に連帯し、労働者の生活と権利を改善し、立て直しを行っていくため勤労国民の先頭に立って闘おうではありませんか。

今、連合では構成組織、地方連合会の皆さんに「雇用と就労・自立支援カンパ」をお願いしています。このカンパ活動を社会の立て直しの第一歩にすべく、皆様のご理解、ご協力の程、心からお願い申し上げる次第です。最近ではカンパについての周知が進んできたこともあり、4月27日に確認を行ったところ、カンパ額が1億円に達する状況にあるとの報告を受けております。地方連合会での支援事業も広がってまいりました。本メーデー会場でも、衣料や生鮮食料品を中心としたフリーマーケットを、全ての構成組織に参加を呼びかけ開催しており、ここでの売上金は、「雇用と就労・自立支援のためのカンパ」として活用させて頂くことにしています。カンパ活動につきましては、これからも更にお願いを続けていく所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

本年9月までには衆議院解散、総選挙が行われます。日本を変えていくためには、行き詰まった自民党を中心とする政権を変えるしかありません。政権交代をめざし、来るべき総選挙に臨みたいと思います。何としても政権交代をはかりたい、この思いを皆さんと共有したいと思います。

最後になりますが、豚インフルエンザへの心配が高まっております。一日も早い沈静化と、日本での感染者がでないことを願っております。

労働者の生活と権利の改善をめざして労働者の怒りを結集する契機にこの第80回メーデーをすべく、連合の団結と運動の強化を誓い合いたいと思います。

どうぞよろしく申し上げます。

労働者の使い捨ては許さない!!今こそ公正と連帯の社会実現をめざそう!!第80回メーデー万歳!!

頑張りましょう。